

学校コード F127310108349

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

森ノ宮医療大学 総合リハビリテーション学部 理学療法学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人森ノ宮医療学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	事務局企画課
職名・氏名	カチョウダイリ タガミ ヤヨイ 課長代理 田頭 弥生
電話番号	06-6616-6911
（夜間）	06-6616-6911
e-mail	kikaku@morinomiya-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

総合リハビリテーション学部

＜理学療法学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	42

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 森ノ宮医療学園

(2) 大学名

森ノ宮医療大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒559-8611
大阪府大阪市住之江区南港北1丁目26番16号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シミズ ナオミチ) 清水 尚道 (平成25年4月1日)		
学長	(アオキ モトクニ) 青木 元邦 (令和3年4月1日)		
学部長	(モリタニ マサユキ) 森谷 正之 (令和4年4月1日)		
学科長等	(ミキヤ リョウスケ) 三木屋 良輔 (令和4年4月1日)	(ナカネ セイヤ) 中根 征也 (令和5年4月1日)	学科長変更のため(5)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
総合リハビリテーション学部 理学療法学科 学士 (理学療法)	保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	4年	70人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	280人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度						
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.00倍	-	1.00倍	-	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	788 []	-	1036 []	() []	() []
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	757 []	-	997 []	() []	() []
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	145 []	-	174 []	() []	() []
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	70 []	-	70 []	() []	() []
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	1.00							

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	70 [-] (-)	- [-] (-)	70 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	70 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次							- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	70 [-] (-)	- [-] (-)	140 [-] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	70人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
令和5年度	140人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{70} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{140} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<総合リハビリテーション学部 理学療法学科>

(1) -① 授業科目表

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
教養科目群	基礎ゼミナール	1前	2			1		1	1		1
	物理学	1後	2								1
	生物学	1前		2							1
	化学	1前		2							1
	情報処理	1前	2			1		1			
	統計学	3前		2							1
	心理学	1前	2								1
	生命倫理学	1前		2							1
	哲学	1後		2							1
	社会福祉学	1前	2								1
	日本国憲法	1後		2							1
	東洋史概説	3前		2							1
	西洋史概説	3前		2							1
	英語Ⅰ(初級)	1前	2								2
	英語Ⅱ(中級)	1後	2								2
	英会話	2前		2							1
	医学英語	2後		2							1
	基礎英語演習	2前		2							1
	応用英語演習	2後		2							1
小計(19科目)	-		14	24	0	2	0	2	1	0	11
共通科目群	MBS(Morinomiya Basic Seminar)	1前	1			1					
	チーム医療見学実習	1前	1			1					
	医療コミュニケーション	2前	1			2		1			
	チーム医療論	2後	1			2		1			
	IPW論	3前	1			2		1			
	基礎体育	1前		1							4
	健康科学(スポーツ社会学を含む)	1前		2							1
	健康管理学Ⅰ	2前		2							1
	健康管理学Ⅱ	2後		2							1
	栄養学	2後		2							1
	身体運動科学	2後		2		1	1		1		1
	東洋医療概論	2後		2							1
	統合医療概論	3前		2							3
小計(13科目)	-		5	15	0	2	1	1	1	0	9
学科専門科目群・専門基礎科目	人体の構造演習Ⅰ(運動器)	1前	1			1					
	人体の構造演習Ⅱ(運動器)	1後	1			1					
	人体の構造Ⅰ(神経系)	1前	2			1					
	人体の構造Ⅱ(循環・内臓)	1後	2			1					
	人体の構造実習	2後	1								1
	人体の機能Ⅰ(動物性機能)	1前	2								1
	人体の機能Ⅱ(植物性機能)	1後	2								1
	基礎運動学	1後	1					1			
	臨床運動学	2前	1			1					
	運動学実習	1後	1			1	1	2			
	臨床心理学	1後	1								1

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
教養科目群	基礎ゼミナール	1前	2			1	1	1	1		1
	物理学	1後	2								1
	生物学	1前		2							1
	化学	1前		2							1
	情報処理	1前	2			1	1	1			
	統計学	3前		2							1
	心理学	1前	2								1
	生命倫理学	1前		2							1
	哲学	1後		2							1
	社会福祉学	1前	2								1
	日本国憲法	1後		2							1
	東洋史概説	3前		2							1
	西洋史概説	3前		2							1
	英語Ⅰ(初級)	1前	2								2
	英語Ⅱ(中級)	1後	2								2
	英会話	2前		2							1
	医学英語	2後		2							1
	基礎英語演習	2前		2							1
	応用英語演習	2後		2							1
小計(19科目)	-		14	24	0	2	1	1	1	0	12
共通科目群	MBS(Morinomiya Basic Seminar)	1前	1			1		1			2
	チーム医療見学実習	1前	1			1				1	
	医療コミュニケーション	2前	1			1	1	1	2		
	チーム医療論	2後	1			1	1	1			15
	IPW論	3前	1			1	1	1	1		
	基礎体育	1前		1							4
	健康科学(スポーツ社会学を含む)	1前		2							1
	健康管理学Ⅰ	2前		2							1
	健康管理学Ⅱ	2後		2							1
	栄養学	2後		2							1
	身体運動科学	2後		2		1	1	2	1		1
	東洋医療概論	2後		2							1
	統合医療概論	3前		2							3
小計(13科目)	-		5	15	0	2	1	2	2		26
学科専門科目群・専門基礎科目	人体の構造演習Ⅰ(運動器)	1前	1					1	1	1	
	人体の構造演習Ⅱ(運動器)	1後	1					1	1	1	
	人体の構造Ⅰ(神経系)	1前	2			1					
	人体の構造Ⅱ(循環・内臓)	1後	2			1					
	人体の構造実習	2後	1								1
	人体の機能Ⅰ(動物性機能)	1前	2								1
	人体の機能Ⅱ(植物性機能)	1後	2								1
	基礎運動学	1後	1					1	1		
	臨床運動学	2前	1			1			1	1	
	運動学実習	1後	1			1	2	1			
	臨床心理学	1後	1								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科専門科目群・専門基礎科目	リハビリテーション概論	1前	2			1		1				1
	公衆衛生学	1後		2								1
	生化学	2前		2								1
	病理学	2前	2									1
	臨床病態学Ⅰ	2前	2			1						
	臨床病態学Ⅱ	2後	2			1						
	臨床病態学Ⅲ	2後	2									3
	整形外科学	2前	2									1
	小児科学(人間発達学)	2後	2				1					
	精神医学	2前	2									1
	リハビリテーション医学(画像診断・予防・栄養含む)	2前	2					1				
	チームリハビリテーション概論	2前	1			1						4
介護学概論・ボランティア活動論	2後		1			1						
スポーツ医学	3前		1								1	
テーピング技術論	2後		1								1	
小計(26科目)	-	-	34	7	0	3	2	2	0	0	0	19
学科専門科目群・専門科目	医療関係法規論	1前	2									1
	理学療法触診法	3後	1			1	1					
	基礎理学療法学Ⅰ	2前	1			1	1	1				
	基礎理学療法学Ⅱ	3前	1			1	1	1				
	基礎理学療法学実習	2通	1			3		1	2			
	職場管理(教育を含む)	3後	1			1						
	職業倫理	3後	1			1						
	理学療法評価学総論	1後	1				1	2	1			
	理学療法評価学各論	2前	2				1	2	1			
	臨床理学療法評価学(動作分析)	3前	1			2						
	臨床理学療法評価学実習	3通	1			3		1	2			
	基礎日常生活活動学	1後	1					1	1			
	基礎運動療法学総論	2前	1			1	1					
	基礎運動療法学各論	2後	1			2	0					
	物理療法学	1後	1					1	1			
	運動器系理学療法学Ⅰ	2後	1			1						
	運動器系理学療法学Ⅱ	3前	2			2	1					
	運動器系理学療法学Ⅲ	3前	1			3	1					
	神経系理学療法学Ⅰ	2後	1			1	1	1	1			
	神経系理学療法学Ⅱ	3前	2			1	1	1	1			
	神経系理学療法学Ⅲ	3前	1			1	1	1	1			
	内部障害系理学療法学Ⅰ	2後	1			1		1				1
	内部障害系理学療法学Ⅱ	3前	2			1		1				1
	内部障害系理学療法学Ⅲ	3前	1			1		1				1
	発達障害理学療法学	3前	1				1					
	義肢装具学	2後	2			1		1				
	臨床理学療法治療学実習	4通	1			3		1	2			
	地域理学療法学	2後	2				1					
	生活環境論	2後	1				1		1			
	老年期理学療法学	3後	1				1		1			
理学療法臨床推論概論	2後		1		2							
理学療法臨床推論演習	3前		1		2							
総合リハビリテーションIPW演習	3前	1			2							
理学療法特論Ⅰ	3後	1				2	2	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科専門科目群・専門基礎科目	リハビリテーション概論	1前	2			1	1	3				1
	公衆衛生学	1後		2								1
	生化学	2前		2								1
	病理学	2前	2									1
	臨床病態学Ⅰ	2前	2				1					1
	臨床病態学Ⅱ	2後	2				1					1
	臨床病態学Ⅲ	2後	2									1
	整形外科学	2前	2									1
	小児科学(人間発達学)	2後	2					1				
	精神医学	2前	2									2
	リハビリテーション医学(画像診断・予防・栄養含む)	2前	2					1				
	チームリハビリテーション概論	2前	1				1					6
介護学概論・ボランティア活動論	2後		1				1					
スポーツ医学	3前		1								2	
テーピング技術論	2後		1					1			1	
小計(26科目)	-	-	34	7	0	4	3	5	1	0	0	18
学科専門科目群・専門科目	医療関係法規論	1前	2									1
	理学療法触診法	3後	1				1	1	1	1		
	基礎理学療法学Ⅰ	2前	1				1	2	1			
	基礎理学療法学Ⅱ	3前	1				1	2	1			
	基礎理学療法学実習	2通	1				3		3	3		
	職場管理(教育を含む)	3後	1			1						
	職業倫理	3後	1			1						
	理学療法評価学総論	1後	1					1	3	1		
	理学療法評価学各論	2前	2					1	3	1		
	臨床理学療法評価学(動作分析)	3前	1			2						
	臨床理学療法評価学実習	3通	1			3			3	3		
	基礎日常生活活動学	1後	1						1	3		
	基礎運動療法学総論	2前	1			1	1			1		
	基礎運動療法学各論	2後	1			1	0					
	物理療法学	1後	1						1	2		
	運動器系理学療法学Ⅰ	2後	1			1						
	運動器系理学療法学Ⅱ	3前	2			2	1					
	運動器系理学療法学Ⅲ	3前	1			3	1					
	神経系理学療法学Ⅰ	2後	1			1	1	2	1	1		1
	神経系理学療法学Ⅱ	3前	2			1	1	2	1	1		1
	神経系理学療法学Ⅲ	3前	1			1	1	2	1	1		1
	内部障害系理学療法学Ⅰ	2後	1			1	1	1	1	1		1
	内部障害系理学療法学Ⅱ	3前	2			1	1	1	1	1		1
	内部障害系理学療法学Ⅲ	3前	1			1	1	1	1	1		1
	発達障害理学療法学	3前	1				1					
	義肢装具学	2後	2			1		1				
	臨床理学療法治療学実習	4通	1			3		3	3	3		
	地域理学療法学	2後	2				1					
	生活環境論	2後	1				1				2	
	老年期理学療法学	3後	1				1		1		2	
理学療法臨床推論概論	2後		1			1		2	1			
理学療法臨床推論演習	3前		1			1		2	1			
総合リハビリテーションIPW演習	3前	1				1	1	1	1		2	
理学療法特論Ⅰ	3後	1				2	2	3	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科専門科目群・専門科目	理学療法特論Ⅱ	4前	1			2	2	1				
	理学療法特論Ⅲ	4後	2			2	2	1				
	運動器系理学療法セミナー	4前		1		3		1				
	神経系理学療法セミナー	4前		1		1	1	1	1			
	内部障害系理学療法セミナー	4前		1		1		1				
	地域理学療法セミナー	4前		1		1						
	卒業研究Ⅰ	3通	2			6	3	3	2			
	卒業研究Ⅱ	4通	2			6	3	3	2			
	臨床見学実習	1後	1			5	3	3	2			
	検査測定実習	2前	1			5	3	3	2			
	臨床評価実習	3後	4			5	3	3	2			
	地域理学療法実習	4前	1			5	3	3	2			
	臨床総合実習Ⅰ	4通	7			5	3	3	2			
	臨床総合実習Ⅱ	4通	7			5	3	3	2			
小計(48科目)	-	67	6	0	6	3	3	2	0	2		
合計(106科目)	-	120	52	0	8	3	3	2	0	36		
卒業要件及び履修方法												
4年以上在籍し、教養科目群から必修14単位+選択2単位以上、共通科目群から必修5単位+選択2単位以上、学科専門科目群の専門基礎科目から必修34単位+選択1単位以上、学科専門科目群の専門科目から必修67単位+選択1単位以上の計126単位以上修得すること。なお、履修できる単位数は半期24単位、通年で48単位以内とする。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科専門科目群・専門科目	理学療法特論Ⅱ	4前	1			2	3	2				
	理学療法特論Ⅲ	4後	2			4	3	4	1		2	
	運動器系理学療法セミナー	4前		1		3	1	1				
	神経系理学療法セミナー	4前		1		1	1	2	1			
	内部障害系理学療法セミナー	4前		1		1	1	1	1		1	
	地域理学療法セミナー	4前		1		1			1			
	卒業研究Ⅰ	3通	2			5	4	4	3			
	卒業研究Ⅱ	4通	2			6	4	4	3			
	臨床見学実習	1後	1			5	4	4	3			
	検査測定実習	2前	1			5	4	4	3			
	臨床評価実習	3後	4			5	4	4	3			
	地域理学療法実習	4前	1			5	4	4	3			
	臨床総合実習Ⅰ	4通	7			5	4	4	3			
	臨床総合実習Ⅱ	4通	7			5	4	4	3			
小計(48科目)	-	67	6	0	5	4	4	3	0	6		
合計(106科目)	-	120	52	0	6	4	5	3	0	60		
卒業要件及び履修方法												
4年以上在籍し、教養科目群から必修14単位+選択2単位以上、共通科目群から必修5単位+選択2単位以上、学科専門科目群の専門基礎科目から必修34単位+選択1単位以上、学科専門科目群の専門科目から必修67単位+選択1単位以上の計126単位以上修得すること。なお、履修できる単位数は半期24単位、通年で48単位以内とする。												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
教養科目群	基礎ゼミナール	1前	2			1	1	1	1	1
	物理学	1後	2							1
	生物学	1前		2						1
	化学	1前		2						1
	情報処理	1前	2			1	1	1		
	統計学	3前		2						1
	心理学	1後	2							1
	生命倫理学	1前		2						1
	哲学	1後		2						1
	社会福祉学	1前	2							1
	日本国憲法	1後		2						1
	東洋史概説	3前		2						1
	西洋史概説	3前		2						1
	英語 I (初級)	1前	2							2
	英語 II (中級)	1後	2							2
	英会話	2前		2						1
	医学英語	2後		2						1
	基礎英語演習	2前		2						1
	応用英語演習	2後		2						1
小計 (19科目)	-	14	24	0	2	1	0	1	0	12
共通科目群	MBS (Morinomiya Basic Seminar)	1前	1			1				
	チーム医療見学実習	1前	1			1				
	医療コミュニケーション	2前	1			2	1	1	2	
	チーム医療論	2後	1			2	1	1		
	IPW論	3前	1			2	1	1	1	
	基礎体育	1前		1						4
	健康科学 (スポーツ社会学を含む)	1前		2						1
	健康管理学 I	2前		2						1
	健康管理学 II	2後		2						1
	栄養学	2後		2						1
	身体運動科学	2後		2		1	1		1	1
	東洋医療概論	2後		2						1
	統合医療概論	3前		2						3
小計 (13科目)	-	5	15	0	2	2	0	4		9
学科専門科目群・専門基礎科目	人体の構造演習 I (運動器)	1前	1				1		1	
	人体の構造演習 II (運動器)	1後	1				1		1	
	人体の構造 I (神経系)	1前	2			1				
	人体の構造 II (循環・内臓)	1後	2			1				
	人体の構造実習	2後	1							1
	人体の機能 I (動物性機能)	1前	2							1
	人体の機能 II (植物性機能)	1後	2							1
	基礎運動学	1後	1				1	1		
	臨床運動学	2前	1			1				
	運動学実習	1後	1			1	2	1		
	臨床心理学	1後	1							1
	リハビリテーション概論	1前	2			1	1	1		1
	公衆衛生学	1後		2						1
	生化学	2前		2						1
病理学	2前		2						1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
学科専門科目群・専門基礎科目	臨床病態学Ⅰ	2前	2			1					1
	臨床病態学Ⅱ	2後	2			1					1
	臨床病態学Ⅲ	2後	2								3
	整形外科学	2前	2								1
	小児科学（人間発達学）	2後	2				1				
	精神医学	2前	2								2
	リハビリテーション医学（画像診断・予防・栄養含む）	2前	2				1				
	チームリハビリテーション概論	2前	1			1					4
	介護学概論・ボランティア活動論	2後	1	1			1				
	スポーツ医学	3前	1	1							2
テーピング技術論	2後	1	1							1	
小計（26科目）	-		34	7		4	3	0	1	0	18
学科専門科目群・専門科目	医療関係法規論	1前	2								1
	理学療法触診法	3後	1			1	1		1		
	基礎理学療法学Ⅰ	2前	1			1	2	1			
	基礎理学療法学Ⅱ	3前	1			1	2	1			
	基礎理学療法学実習	2通	1			3		1	5		
	職場管理（教育を含む）	3後	1			1					
	職業倫理	3後	1			1					
	理学療法評価学総論	1後	1				1	2	1		
	理学療法評価学各論	2前	2				1	2	1		
	臨床理学療法評価学（動作分析）	3前	1			2					
	臨床理学療法評価学実習	3通	1			3		1	5		
	基礎日常生活活動学	1後	1					1	3		
	基礎運動療法学総論	2前	1			1	1			1	
	基礎運動療法学各論	2後	1			2	0				
	物理療法学	1後	1					1	2		
	運動器系理学療法学Ⅰ	2後	1			1					
	運動器系理学療法学Ⅱ	3前	2			2	1				
	運動器系理学療法学Ⅲ	3前	1			3	1				
	神経系理学療法学Ⅰ	2後	1			1	1	1	2		
	神経系理学療法学Ⅱ	3前	2			1	1	1	2		
	神経系理学療法学Ⅲ	3前	1			1	1	1	2		
	内部障害系理学療法学Ⅰ	2後	1			1	1	1	1		1
	内部障害系理学療法学Ⅱ	3前	2			1	1	1	1		1
	内部障害系理学療法学Ⅲ	3前	1			1	1	1	1		1
	発達障害理学療法学	3前	1				1				
	義肢装具学	2後	2			1		1			
	臨床理学療法治療学実習	4通	1			3		1	2		
	地域理学療法学	2後	2				1				
	生活環境論	2後	1			1			2		
	老年期理学療法学	3後	1				1		2		
理学療法臨床推論概論	2後	1	1		2			2			
理学療法臨床推論演習	3前	1	1		2			2			
総合リハビリテーションIPW演習	3前	1			2			1			
理学療法特論Ⅰ	3後	1				2	2	1			
理学療法特論Ⅱ	4前	1				2	2	2			
理学療法特論Ⅲ	4後	2				2	2	1			
運動器系理学療法セミナー	4前	1	1		3		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科専門科目群・専門科目	神経生理学療法セミナー	4前		1		1	1	1	2		
	内部障害系理学療法セミナー	4前		1		1	1	1	1		
	地域理学療法セミナー	4前		1			1				
	卒業研究Ⅰ	3通	2			6	4	2	3		
	卒業研究Ⅱ	4通	2			6	4	2	2		
	臨床見学実習	1後	1			5	4	2	5		
	検査測定実習	2前	1			5	4	2	6		
	臨床評価実習	3後	4			5	4	2	5		
	地域理学療法実習	4前	1			5	4	2	2		
	臨床総合実習Ⅰ	4通	7			5	4	2	5		
	臨床総合実習Ⅱ	4通	7			5	4	2	4		
	小計(62科目)	-	67	6	0	6	4	2	6	0	2
	合計(106科目)	-	120	52	0	6	4	2	6	0	38

卒業要件及び履修方法

4年以上在籍し、教養科目群から必修14単位+選択2単位以上、共通科目群から必修5単位+選択2単位以上、学科専門科目群の専門基礎科目から必修34単位+選択1単位以上、学科専門科目群の専門科目から必修67単位+選択1単位以上の計126単位以上修得すること。なお、履修できる単位数は半期24単位、通年で48単位以内とする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は本字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・専任教員の職位変更に伴い、「基礎ゼミナール」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「情報処理」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「医療コミュニケーション」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教0」から「助教2」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「チーム医療論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「IPW論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の退職により「人体の構造演習Ⅰ(運動器)」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の退職により「人体の構造演習Ⅱ(運動器)」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「基礎運動学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「運動学実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師2」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「リハビリテーション概論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・専任教員が学長に就任したことにより学科所属ではなくなったため、「臨床病態学Ⅰ」の教員配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更。
- ・専任教員が学長に就任したことにより学科所属ではなくなったため、「臨床病態学Ⅱ」の教員配置を「教授1」から「教授0」、「兼0」から「兼1」に変更。
- ・教育内容の充実を図る理由により「精神医学」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容の充実を図る理由により「理学療法触診法」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「基礎理学療法Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「基礎理学療法Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教育内容の充実を図る理由により「基礎理学療法実習」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教5」に変更。
- ・教育内容の充実を図る理由により「臨床理学療法評価学実習」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教5」に変更。
- ・教育内容の充実を図る理由により「基礎日常生活活動学」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教3」に変更。
- ・教育内容の充実を図る理由により「基礎運動療法学総論」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教育内容の充実を図る理由により「物理療法学」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・教育内容の充実を図る理由により「神経系理学療法Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・教育内容の充実を図る理由により「神経系理学療法Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・教育内容の充実を図る理由により「神経系理学療法Ⅲ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「内部障害系理学療法Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「内部障害系理学療法Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「内部障害系理学療法Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教育内容の充実を図る理由により「生活環境論」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・教育内容の充実を図る理由により「老年期理学療法学」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・教育内容の充実を図る理由により「理学療法臨床推論概論」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教2」に変更。
- ・教育内容の充実を図る理由により「理学療法臨床推論演習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教2」に変更。
- ・教育内容の充実を図る理由により「総合リハビリテーションIPW演習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教育内容の充実を図る理由により「理学療法特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・教育内容の充実を図る理由により「神経系理学療法セミナー」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「内部障害系理学療法セミナー」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師3」から「講師2」、「助教2」から「助教3」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師3」から「講師2」に変更。
- ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「臨床見学実習」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師3」から「講師2」、「助教2」から「助教5」に変更。
- ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「検査測定実習」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師3」から「講師2」、「助教2」から「助教6」に変更。
- ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「臨床評価実習」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師3」から「講師2」、「助教2」から「助教5」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「地域理学療法実習」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師3」から「講師2」に変更。
- ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「臨床総合実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師3」から「講師2」、「助教2」から「助教5」に変更。
- ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「臨床総合実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師3」から「講師2」、「助教2」から「助教4」に変更。

【令和5年度】

- ・専任教員の職位変更に伴い、「基礎ゼミナール」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教育の充実を図る理由により「MBS(Morinomiya Basic Seminar)」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「兼0」から「兼2」に変更。
- ・教育の充実を図る理由により「チーム医療見学実習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・科目担当の見直しにより「医療コミュニケーション」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・科目担当の見直し及び教育の充実を図る理由により「チーム医療論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「講師0」から「講師1」、「兼0」から「兼15」に変更。
- ・科目担当の見直し及び専任教員の職位変更により「IPW論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・科目担当の見直し及び専任教員の職位変更により「身体運動科学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師2」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「人体の構造演習Ⅰ(運動器)」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「人体の構造演習Ⅱ(運動器)」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教育の充実を図る理由により「臨床運動学」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・科目担当の見直しにより「リハビリテーション概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師0」から「講師3」に変更。
- ・兼任教員の退職により「臨床病態学Ⅲ」の専任教員の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
- ・教育の充実を図る理由により「チームリハビリテーション概論」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼6」に変更。
- ・教育の充実を図る理由により「テーピング技術論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・科目担当の見直しにより「理学療法触診法」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・科目担当の見直しにより「基礎理学療法Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・科目担当の見直しにより「基礎理学療法Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「基礎理学療法実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師3」、「助教5」から「助教3」に変更。
- ・科目担当の見直し及び専任教員の職位変更に伴い、「理学療法評価学総論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「講師2」から「講師3」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「理学療法評価学各論」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「臨床理学療法評価学実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師3」、「助教5」から「助教3」に変更。
- ・科目担当の見直しにより「基礎運動療法学各論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・科目担当の見直し、専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「神経系理学療法Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師1」から「講師2」、「助教2」から「助教1」、「兼0」から「兼1」に変更。
- ・科目担当の見直し、専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「神経系理学療法Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師1」から「講師2」、「助教2」から「助教1」、「兼0」から「兼1」に変更。
- ・科目担当の見直し、専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「神経系理学療法Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「講師1」から「講師2」、「助教2」から「助教1」、「兼0」から「兼1」に変更。
- ・科目担当の見直し及び専任教員の職位変更により、「内部障害系理学療法Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」、「兼1」から「兼0」に変更。
- ・科目担当の見直し及び専任教員の職位変更により、「内部障害系理学療法Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」、「兼1」から「兼0」に変更。
- ・科目担当の見直し及び専任教員の職位変更により、「内部障害系理学療法Ⅲ」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」、「兼1」から「兼0」に変更。
- ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により、「臨床理学療法治療学実習」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」、「助教2」から「助教3」に変更。
- ・科目担当の見直し及び専任教員の職位変更により、「理学療法臨床推論概論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「講師0」から「講師2」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・科目担当の見直し及び専任教員の職位変更により、「理学療法臨床推論演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「講師0」から「講師2」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・科目担当の見直し、専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により「総合リハビリテーションIPW演習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」、「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」、「兼0」から「兼2」に変更。
- ・教育の充実を図る理由により「理学療法特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」に変更。
- ・科目担当の見直し及び専任教員の職位変更により、「理学療法特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師3」、「助教2」から「助教0」に変更。
- ・専任教員の職位変更及び教育の充実を図る理由により、「理学療法特論Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授4」、「准教授2」から「准教授3」、「講師2」から「講師4」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「運動器系理学療法セミナー」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「神経系理学療法セミナー」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」、「助教2」から「助教1」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「内部障害系理学療法セミナー」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・教育の充実を図る理由により「地域理学療法セミナー」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・科目担当の見直し及び専任教員の職位変更により、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」、「講師2」から「講師4」に変更。
- ・科目担当の見直し及び専任教員の職位変更により、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師4」、「助教2」から「助教3」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「臨床見学実習」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師4」、「助教5」から「助教3」に変更。
- ・科目担当の見直し及び専任教員の職位変更により、「検査測定実習」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師4」、「助教6」から「助教3」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「臨床評価実習」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師4」、「助教5」から「助教3」に変更。
- ・科目担当の見直し及び専任教員の職位変更により、「地域理学療法実習」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師4」、「助教2」から「助教3」に変更。
- ・専任教員の職位変更に伴い、「臨床総合実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師4」、「助教5」から「助教3」に変更。
- ・科目担当の見直し及び専任教員の職位変更により、「臨床総合実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師4」、「助教4」から「助教3」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
75 科目	31 科目	0 科目	106 科目	75 科目 [0]	31 科目 [0]	0 科目 [0]	106 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{106} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	特例措置の認定により 運動場機能の代替措置 を講じる。 特区No. 828 (大阪市)		
	校 舎 敷 地	30495.44㎡ 32171.51㎡ 28590.72㎡	0㎡	1871.07㎡ 0㎡	32366.51㎡ 32171.51㎡ 28590.72㎡	認識相違のため (4) 認識相違のため (5)		
		運動場用地	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡		
	小 計	30495.44㎡ 32171.51㎡ 28590.72㎡	0㎡	1871.07㎡ 0㎡	32366.51㎡ 32171.51㎡ 28590.72㎡			
	そ の 他	0㎡ 980.13㎡ 4560.92㎡	0㎡	0㎡	0㎡ 980.13㎡ 4560.92㎡	認識相違・セミナーハ ウス追加 (4) 認識相違のため (5)		
	合 計	30495.44㎡ 33151.64㎡	0㎡	1871.07㎡ 0㎡	32366.51㎡ 33151.64㎡			
(2) 校 舎	専 用	28853.21㎡ 27211.33㎡ 32714.57㎡	0㎡	0㎡	28853.21㎡ 27211.33㎡ 32714.57㎡	認識相違・セミナーハ ウス追加 (4) 新棟建設 (R6年2月竣 工予定) のため (5)		
		-(28853.21㎡) (27108.06㎡)	(0㎡)	(0㎡)	-(28853.21㎡) (27108.06㎡)	認識相違のため (4)		
(3) 教 室 等	講 義 室	46室 47室 44室	19室 20室	49室 46室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)	大学全体 用途変更 (4) 用途変更 (5)	
	演 習 室							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室 数				個人研究室3室 共同研究室6室 7室 大学全体→理学療法学 科専任の記載へ (4) 用途変更 (5)		
	総合リハビリテーション学部 理学療法学科	82 9 10			室			
(5) 新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械・器 具	標 本	学部・研究科等の単位 での特定が不能な ため、大学全体の数	
	〔うち外国書〕	冊	種	点	点	点		
	電子ジャーナル		〔うち外国書〕					
	総合リハビリ テーション学部 理学療法学科	31,200 [1,760] 37,892 [2,427] 37,851 [2,305] -30,100 -1,720 -32,892 (2,007)	440 [60] 475 [61] 432 [65] -(440 [62]) -(451 [57]) (414 [59])	20 [10] 22 [12] 16 [14] -(19 [10]) (18 [8]) (10 [8])	920 1,113 1,067 -(899) -(973) (977)	1,695 2,426 2,498 -(1,695) -(2,226) (2,277)		275 786 783 -(275) -(626) (652)
	計	31,200 [1,760] 37,892 [2,427] 37,851 [2,305] -30,100 -1,720 -32,892 (2,007)	440 [60] 475 [61] 432 [65] -(440 [62]) -(451 [57]) (414 [59])	20 [10] 22 [12] 16 [14] -(19 [10]) (18 [8]) (10 [8])	920 1,113 1,067 -(899) -(973) (977)	1,695 2,426 2,498 -(1,695) -(2,226) (2,277)		275 786 783 -(275) -(626) (652)
(6) 図 書 館	面 積	881.58㎡ 927.21㎡ 881.58㎡	閲覧席座数	273	取 納 可 能 冊 数	80,000	大学全体 用途変更 (4) 認識相違のため (5)	
	体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		1323.22㎡	多目的スポーツ施設 1		-			
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
	教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	14,000千円	14,000千円	14,000千円	新学科設置に伴う設備購 入費および図書購入費増 額、図書運営費の記載漏 れ、共同研究費の認識相 違のため (5) 図書費には電子ジャーナ ル・データベースの整備 費 (運用コスト含む) を 含む
	共同研究費等	15,500千円	15,500千円 5,000千円	設備購入費	36,000千円	36,000千円	36,000千円 120,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,800千円	第2年次 1,710千円	第3年次 1,710千円	第4年次 1,710千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に**赤字**で記入してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	森ノ宮医療大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
保健医療学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成19年度	大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16						
看護学科	4	-	-	-	学士(看護学)	-	-	-	-	-	平成23年度	同上	令和4年学生募集停止					
理学療法学科	4	-	-	-	学士(理学療法)	-	-	-	-	-	平成19年度	同上	令和4年学生募集停止					
作業療法学科	4	-	-	-	学士(作業療法)	-	-	-	-	-	平成28年度	同上	令和4年学生募集停止					
看護学部	4	90	-	180	-	1.00	-	1.00	-	令和4年度	令和4年度	同上						
看護学科	4	90	-	180	学士(看護学)	1.00	-	1.00	-	令和4年度	令和4年度	同上						
総合リハビリテーション学部	4	110	-	220	-	1.09	-	1.08	-	令和4年度	令和4年度	同上						
理学療法学科	4	70	-	140	学士(理学療法)	1.00	-	1.00	-	令和4年度	令和4年度	同上						
作業療法学科	4	40	-	80	学士(作業療法)	1.25	-	1.22	-	令和4年度	令和4年度	同上						
医療技術学部	4	270	-	1080	-	1.09	-	1.05	1.03	-	平成19年度	同上						
臨床検査学科	4	70	-	280	学士(臨床検査)	1.02	-	1.01	1.00	令和2年度	平成28年度	同上	令和4年保健医療学部から名称変更					
臨床工学科	4	60	-	240	学士(臨床工学)	1.12	-	1.06	1.02	-	平成30年度	同上	令和4年保健医療学部から名称変更					
診療放射線学科	4	80	-	320	学士(診療放射線)	1.12	-	1.08	-	令和2年度	令和2年度	同上	令和4年保健医療学部から名称変更					
鍼灸学科	4	60	-	240	学士(鍼灸)	1.08	-	1.05	1.02	-	平成19年度	同上	令和4年保健医療学部から名称変更					
大学全体	4	470	-	1480	-	1.07	-	1.05	1.04	-	平成19年度	同上						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<総合リハビリテーション学部 理学療法学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	三木屋 良輔 <令和4年4月> 修士(医科学)
		医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 基礎理学療法学実習 職場管理(教育を含む) 職業倫理 臨床理学療法評価学(動作分析) 臨床理学療法評価学実習 基礎運動療法学総論 基礎運動療法学各論 運動器系理学療法学Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 生活環境論 理学療法臨床推論概論 理学療法臨床推論演習 総合リハビリテーションIPW演習 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	教授	河村 廣幸 <令和4年4月> 専門士
		情報処理 運動器系理学療法学Ⅱ 運動器系理学療法学Ⅲ 義肢装具学 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	教授	青木 元邦 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅰ 臨床病態学Ⅱ
専	教授	森谷 正之 <令和4年4月> 博士(歯学)
		人体の構造Ⅰ(神経系) 人体の構造Ⅱ(循環・内臓) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	三木屋 良輔 <令和4年4月> 修士(医科学)
		医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 基礎理学療法学実習 職場管理(教育を含む) 職業倫理 臨床理学療法評価学(動作分析) 臨床理学療法評価学実習 基礎運動療法学総論 基礎運動療法学各論 運動器系理学療法学Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 生活環境論 理学療法臨床推論概論 理学療法臨床推論演習 総合リハビリテーションIPW演習 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	教授	河村 廣幸 <令和4年4月> 専門士
		情報処理 運動器系理学療法学Ⅱ 運動器系理学療法学Ⅲ 義肢装具学 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	教授	森谷 正之 <令和4年4月> 博士(歯学)
		人体の構造Ⅰ(神経系) 人体の構造Ⅱ(循環・内臓) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	三木屋 良輔 <令和5年4月> 修士(医科学)
		医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 基礎理学療法学実習 職場管理(教育を含む) 職業倫理 臨床理学療法評価学(動作分析) 臨床理学療法評価学実習 基礎運動療法学総論 基礎運動療法学各論 運動器系理学療法学Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 生活環境論 理学療法臨床推論概論 理学療法臨床推論演習 総合リハビリテーションIPW演習 理学療法特論Ⅲ 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	教授	河村 廣幸 <令和5年4月> 専門士
		情報処理 運動器系理学療法学Ⅱ 運動器系理学療法学Ⅲ 義肢装具学 理学療法特論Ⅲ 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	教授	森谷 正之 <令和5年4月> 博士(歯学)
		人体の構造Ⅰ(神経系) 人体の構造Ⅱ(循環・内臓) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 地域理学療法実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北村 清一郎 <令和4年4月> 博士(歯学)
		人体の構造演習Ⅰ(運動器) 人体の構造演習Ⅱ(運動器)
専	教授	堀 竜次 <令和4年4月> 博士(医学)
		チームリハビリテーション概論 基礎理学療法実習 臨床理学療法評価学実習 内部障害系理学療法Ⅰ 内部障害系理学療法Ⅱ 内部障害系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 内部障害系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	教授	中根 征也 <令和4年4月> 修士(学術)
		基礎ゼミナール MBS(Morinomiya Basic Seminar) チーム医療見学実習 医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 身体運動科学 リハビリテーション概論 基礎理学療法実習 臨床理学療法評価学(動作分析) 臨床理学療法評価学実習 神経系理学療法Ⅰ 神経系理学療法Ⅱ 神経系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 神経系理学療法セミナー 理学療法臨床推論概論 理学療法臨床推論演習 総合リハビリテーションIPW演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	堀 竜次 <令和4年4月> 博士(医学)
		チームリハビリテーション概論 基礎理学療法実習 臨床理学療法評価学実習 内部障害系理学療法Ⅰ 内部障害系理学療法Ⅱ 内部障害系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 内部障害系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	教授	中根 征也 <令和4年4月> 修士(学術)
		基礎ゼミナール MBS(Morinomiya Basic Seminar) チーム医療見学実習 医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 身体運動科学 リハビリテーション概論 基礎理学療法実習 臨床理学療法評価学(動作分析) 臨床理学療法評価学実習 神経系理学療法Ⅰ 神経系理学療法Ⅱ 神経系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 神経系理学療法セミナー 理学療法臨床推論概論 理学療法臨床推論演習 総合リハビリテーションIPW演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	堀 竜次 <令和5年4月> 博士(医学)
		チームリハビリテーション概論 基礎理学療法実習 臨床理学療法評価学実習 内部障害系理学療法Ⅰ 内部障害系理学療法Ⅱ 内部障害系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 理学療法特論Ⅲ 内部障害系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	教授	中根 征也 <令和5年4月> 修士(学術)
		基礎ゼミナール MBS(Morinomiya Basic Seminar) チーム医療見学実習 医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 身体運動科学 臨床運動学 リハビリテーション概論 基礎理学療法実習 臨床理学療法評価学(動作分析) 臨床理学療法評価学実習 神経系理学療法Ⅰ 神経系理学療法Ⅱ 神経系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 神経系理学療法セミナー 理学療法臨床推論概論 理学療法臨床推論演習 総合リハビリテーションIPW演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	工藤 慎太郎 [redacted] <令和4年4月> 博士(医療科学)
		臨床運動学 運動学実習 理学療法触診法 基礎理学療法Ⅰ 基礎理学療法Ⅱ 基礎運動療法学各論 運動器系理学療法Ⅰ 運動器系理学療法Ⅱ 運動器系理学療法Ⅲ 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	准教授	前田 薫 [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		運動学実習 リハビリテーション医学 (画像診断・予防・栄養含む) 介護学概論・ボランティア活動論 理学療法触診法 基礎運動療法学総論 運動器系理学療法Ⅱ 運動器系理学療法Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	准教授	澤田 優子 [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		小児科学(人間発達学) 基礎理学療法Ⅰ 基礎理学療法Ⅱ 発達障害理学療法 地域理学療法 老年期理学療法 地域理学療法セミナー 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	工藤 慎太郎 [redacted] <令和4年4月> 博士(医療科学)
		臨床運動学 運動学実習 理学療法触診法 基礎理学療法Ⅰ 基礎理学療法Ⅱ 基礎運動療法学各論 運動器系理学療法Ⅰ 運動器系理学療法Ⅱ 運動器系理学療法Ⅲ 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	准教授	前田 薫 [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		運動学実習 リハビリテーション医学 (画像診断・予防・栄養含む) 介護学概論・ボランティア活動論 理学療法触診法 基礎運動療法学総論 運動器系理学療法Ⅱ 運動器系理学療法Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	准教授	澤田 優子 [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		小児科学(人間発達学) 基礎理学療法Ⅰ 基礎理学療法Ⅱ 発達障害理学療法 地域理学療法 老年期理学療法 地域理学療法セミナー 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	工藤 慎太郎 [redacted] <令和5年4月> 博士(医療科学)
		臨床運動学 運動学実習 理学療法触診法 基礎理学療法Ⅰ 基礎理学療法Ⅱ 基礎運動療法学各論 運動器系理学療法Ⅰ 運動器系理学療法Ⅱ 運動器系理学療法Ⅲ 理学療法特論Ⅲ 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	准教授	前田 薫 [redacted] <令和5年4月> 博士(医学)
		運動学実習 リハビリテーション医学 (画像診断・予防・栄養含む) 介護学概論・ボランティア活動論 理学療法触診法 基礎運動療法学総論 運動器系理学療法Ⅱ 運動器系理学療法Ⅲ 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	准教授	澤田 優子 [redacted] <令和5年4月> 博士(医学)
		小児科学(人間発達学) 基礎理学療法Ⅰ 基礎理学療法Ⅱ 発達障害理学療法 地域理学療法 老年期理学療法 地域理学療法セミナー 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	木内 隆裕 ■ ＜令和4年4月＞ 修士 (人間健康科学)
		身体運動科学 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 神経系理学療法Ⅰ 神経系理学療法Ⅱ 神経系理学療法Ⅲ 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 神経系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	講師	角田 晃啓 ■ ＜令和4年4月＞ 修士 (健康科学)
		基礎ゼミナール 情報処理 医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 基礎運動学 運動学実習 リハビリテーション概論 基礎理学療法Ⅰ 基礎理学療法Ⅱ 内部障害系理学療法Ⅰ 内部障害系理学療法Ⅱ 内部障害系理学療法Ⅲ 内部障害系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	講師	仲本 正美 ■ ＜令和4年4月＞ 博士 (医学)
		運動学実習 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 基礎日常生活活動学 物理療法学 義肢装具学 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	木内 隆裕 ■ ＜令和4年4月＞ 修士 (人間健康科学)
		身体運動科学 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 神経系理学療法Ⅰ 神経系理学療法Ⅱ 神経系理学療法Ⅲ 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 神経系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	准教授	角田 晃啓 ■ ＜令和4年4月＞ 修士 (健康科学)
		基礎ゼミナール 情報処理 医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 基礎運動学 運動学実習 リハビリテーション概論 基礎理学療法Ⅰ 基礎理学療法Ⅱ 内部障害系理学療法Ⅰ 内部障害系理学療法Ⅱ 内部障害系理学療法Ⅲ 内部障害系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	講師	仲本 正美 ■ ＜令和4年4月＞ 博士 (医学)
		運動学実習 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 基礎日常生活活動学 物理療法学 義肢装具学 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	木内 隆裕 ■ ＜令和5年4月＞ 修士 (人間健康科学)
		身体運動科学 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 神経系理学療法Ⅰ 神経系理学療法Ⅱ 神経系理学療法Ⅲ 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 神経系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	准教授	角田 晃啓 ■ ＜令和5年4月＞ 修士 (健康科学)
		基礎ゼミナール 情報処理 医療コミュニケーション チーム医療論 IPW論 基礎運動学 運動学実習 リハビリテーション概論 基礎理学療法Ⅰ 基礎理学療法Ⅱ 内部障害系理学療法Ⅰ 内部障害系理学療法Ⅱ 内部障害系理学療法Ⅲ 内部障害系理学療法セミナー 総合リハビリテーションIPW 演習 理学療法特論Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	講師	仲本 正美 ■ ＜令和5年4月＞ 博士 (医学)
		運動学実習 理学療法触診法 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 基礎日常生活活動学 物理療法学 義肢装具学 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 運動器系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	杉本 圭 [redacted] ＜令和4年4月＞ 修士(学術)
		基礎理学療法学実習 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 臨床理学療法評価学実習 神経系理学療法Ⅰ 神経系理学療法Ⅱ 神経系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 神経系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	助教	松尾 浩希 [redacted] ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		基礎ゼミナール 身体運動科学 基礎理学療法学実習 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 臨床理学療法評価学実習 神経系理学療法Ⅰ 神経系理学療法Ⅱ 神経系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 神経系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	杉本 圭 [redacted] ＜令和4年4月＞ 修士(学術)
		基礎理学療法学実習 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 臨床理学療法評価学実習 神経系理学療法Ⅰ 神経系理学療法Ⅱ 神経系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 神経系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	助教	松尾 浩希 [redacted] ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		基礎ゼミナール 身体運動科学 基礎理学療法学実習 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 臨床理学療法評価学実習 神経系理学療法Ⅰ 神経系理学療法Ⅱ 神経系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 神経系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	杉本 圭 [redacted] ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		身体運動科学 リハビリテーション概論 テーピング技術論 基礎理学療法学実習 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 臨床理学療法評価学実習 神経系理学療法Ⅰ 神経系理学療法Ⅱ 神経系理学療法Ⅲ 理学療法臨床推論概論 理学療法臨床推論演習 臨床理学療法治療学実習 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 神経系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	講師	松尾 浩希 [redacted] ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		基礎ゼミナール 身体運動科学 リハビリテーション概論 基礎理学療法学実習 理学療法評価学総論 理学療法評価学各論 臨床理学療法評価学実習 神経系理学療法Ⅰ 神経系理学療法Ⅱ 神経系理学療法Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 神経系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	林 真太郎 ■■■■ <令和4年4月> 修士(保健医療学)
		基礎理学療法学実習 臨床理学療法評価学実習 基礎日常生活活動学 物理療法学 臨床理学療法治療学実習 生活環境論 老年期理学療法学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		国宗 翔 ■■■■ <令和4年4月> 博士(学術)
専	助教	国宗 翔 ■■■■ <令和4年4月> 博士(学術)
		IPW論 基礎理学療法学実習 臨床理学療法評価学実習 内部障害系理学療法学Ⅰ 内部障害系理学療法学Ⅱ 内部障害系理学療法学Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 理学療法臨床推論概論 理学療法臨床推論演習 総合リハビリテーションIPW 演習 理学療法特論Ⅱ 内部障害系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	助教	堤 真大 ■■■■ 博士(医学) <令和4年4月>
		人体の構造演習Ⅰ(運動器) 人体の構造演習Ⅱ(運動器) 検査測定実習
専	助教	林 真太郎 ■■■■ <令和4年4月> 修士(保健医療学)
		基礎理学療法学実習 臨床理学療法評価学実習 基礎日常生活活動学 物理療法学 臨床理学療法治療学実習 生活環境論 老年期理学療法学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		国宗 翔 ■■■■ <令和5年4月> 博士(学術)
専	講師	国宗 翔 ■■■■ <令和5年4月> 博士(学術)
		MBS(Morinomiya Basic Seminar) チーム医療論 IPW論 臨床運動学 リハビリテーション概論 基礎理学療法学実習 臨床理学療法評価学実習 内部障害系理学療法学Ⅰ 内部障害系理学療法学Ⅱ 内部障害系理学療法学Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 理学療法臨床推論概論 理学療法臨床推論演習 総合リハビリテーションIPW 演習 理学療法特論Ⅰ 理学療法特論Ⅱ 理学療法特論Ⅲ 内部障害系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
専	講師	堤 真大 ■■■■ 博士(医学) <令和5年4月>
		人体の構造演習Ⅰ(運動器) 人体の構造演習Ⅱ(運動器) 検査測定実習
専	助教	林 真太郎 ■■■■ <令和5年4月> 修士(保健医療学)
		基礎理学療法学実習 臨床理学療法評価学実習 基礎日常生活活動学 物理療法学 臨床理学療法治療学実習 生活環境論 老年期理学療法学 理学療法特論Ⅰ 地域理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	阿部 秀高 ＜令和4年4月＞ 修士(学校教育学)
		基礎ゼミナール
兼担	教授	安部 辰夫 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		化学
兼担	教授	井手口 範男 ＜令和4年4月＞ 修士(人間科学)
		統計学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		檜垣 奨 ＜令和4年4月＞ 学士 (理学療法学)
専	助教	医療コミュニケーション 基礎理学療法学実習 臨床理学療法評価学実習 基礎日常生活活動学 物理療法学 臨床理学療法治療学実習 生活環境論 老年期理学療法学 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
		平川 正彦 ＜令和4年4月＞ 学士 (理学療法学)
専	助教	医療コミュニケーション 理学療法触診法 基礎理学療法学実習 臨床理学療法評価学実習 基礎日常生活活動学 基礎運動療法学総論 神経系理学療法学Ⅰ 神経系理学療法学Ⅱ 神経系理学療法学Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 理学療法臨床推論概論 理学療法臨床推論演習 神経系理学療法セミナー 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 臨床総合実習Ⅰ
兼担	教授	阿部 秀高 ＜令和4年4月＞ 修士(学校教育学)
		基礎ゼミナール
兼担	教授	安部 辰夫 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		化学
兼担	教授	井手口 範男 ＜令和4年4月＞ 修士(人間科学)
		統計学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		檜垣 奨 ＜令和5年4月＞ 学士 (理学療法学)
専	助教	医療コミュニケーション 臨床運動学 基礎理学療法学実習 臨床理学療法評価学実習 基礎日常生活活動学 物理療法学 臨床理学療法治療学実習 生活環境論 老年期理学療法学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
		平川 正彦 ＜令和5年4月＞ 学士 (理学療法学)
専	助教	チーム医療見学実習 医療コミュニケーション 理学療法触診法 基礎理学療法学実習 臨床理学療法評価学実習 基礎日常生活活動学 基礎運動療法学総論 神経系理学療法学Ⅰ 神経系理学療法学Ⅱ 神経系理学療法学Ⅲ 臨床理学療法治療学実習 理学療法臨床推論概論 理学療法臨床推論演習 神経系理学療法セミナー 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床見学実習 検査測定実習 臨床評価実習 地域理学療法実習 臨床総合実習Ⅰ 臨床総合実習Ⅱ
兼担	教授	阿部 秀高 ＜令和5年4月＞ 修士(学校教育学)
		基礎ゼミナール
兼担	教授	安部 辰夫 ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		化学 理学療法特論Ⅲ
兼担	教授	井手口 範男 ＜令和5年4月＞ 修士(人間科学)
		統計学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤重(中嶋)仁子 [redacted] <令和4年4月> 博士(言語文化学)
		英語Ⅰ(初級) 英語Ⅱ(中級) 英会話
兼任	教授	中原 英博 [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		基礎体育 健康管理学Ⅰ 健康管理学Ⅱ 身体運動科学
兼任	教授	山下 仁 [redacted] <令和4年4月> 博士(保健学)
		統合医療概論
兼任	教授	森 美侑紀(広子) [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		統合医療概論
兼任	教授	川畑 浩久 [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		人体の構造実習 スポーツ医学
兼任	教授	木田 岩男 [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		病理学
兼任	教授	前川 佳敬 [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤重(中嶋)仁子 [redacted] <令和4年4月> 博士(言語文化学)
		英語Ⅰ(初級) 英語Ⅱ(中級) 英会話
兼任	教授	中原 英博 [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		基礎体育 健康管理学Ⅰ 健康管理学Ⅱ 身体運動科学
兼任	教授	山下 仁 [redacted] <令和4年4月> 博士(保健学)
		統合医療概論
兼任	教授	森 美侑紀(広子) [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		統合医療概論
兼任	教授	川畑 浩久 [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		人体の構造実習 スポーツ医学
兼任	教授	木田 岩男 [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		病理学
兼任	教授	五十嵐 淳介 [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅰ 臨床病態学Ⅱ
兼任	教授	前川 佳敬 [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中原 英博 [redacted] <令和5年4月> 博士(医学)
		基礎体育 健康管理学Ⅰ 健康管理学Ⅱ 身体運動科学
兼任	教授	山下 仁 [redacted] <令和5年4月> 博士(保健学)
		MBS(Morinomiya Basic Seminar) 統合医療概論
兼任	教授	森 美侑紀(広子) [redacted] <令和5年4月> 博士(医学)
		統合医療概論
兼任	教授	川畑 浩久 [redacted] <令和5年4月> 博士(医学)
		人体の構造実習 スポーツ医学
兼任	教授	
兼任	教授	五十嵐 淳介 [redacted] <令和5年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅰ 臨床病態学Ⅱ
兼任	教授	前川 佳敬 [redacted] <令和5年4月> 博士(医学)
		MBS(Morinomiya Basic Seminar) 臨床病態学Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	松崎 伸介 [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅲ
兼任	教授	吉岡 敏治 [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅲ
兼任	教授	小林 貴代 [redacted] <令和4年4月> 専門学校卒
		チームリハビリテーション概論
兼任	教授	橋本 弘子 [redacted] <令和4年4月> 博士(保健学)
		チームリハビリテーション概論
兼任	教授	金尾 顕郎 [redacted] <令和4年4月> 専門学校卒
		リハビリテーション概論 内部障害系理学療法Ⅰ 内部障害系理学療法Ⅱ 内部障害系理学療法Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	松崎 伸介 [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅲ
兼任	教授	吉岡 敏治 [redacted] <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅲ
兼任	教授	小林 貴代 [redacted] <令和4年4月> 専門学校卒
		チームリハビリテーション概論
兼任	教授	橋本 弘子 [redacted] <令和4年4月> 博士(保健学)
		チームリハビリテーション概論
兼任	教授	金尾 顕郎 [redacted] <令和4年4月> 専門学校卒
		リハビリテーション概論 内部障害系理学療法Ⅰ 内部障害系理学療法Ⅱ 内部障害系理学療法Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	松崎 伸介 [redacted] <令和5年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅲ
兼任	教授	吉岡 敏治 [redacted] <令和5年4月> 博士(医学)
		臨床病態学Ⅲ スポーツ医学
兼任	教授	橋本 弘子 [redacted] <令和5年4月> 博士(保健学)
		チームリハビリテーション概論
兼任	教授	金尾 顕郎 [redacted] <令和5年4月> 専門学校卒
		リハビリテーション概論 神経系理学療法Ⅰ 神経系理学療法Ⅱ 神経系理学療法Ⅲ 内部障害系理学療法Ⅰ 内部障害系理学療法Ⅱ 内部障害系理学療法Ⅲ 内部障害系理学療法セミナー
兼任	教授	吉村 弥須子 [redacted] <令和5年4月> 博士(看護学)
		チーム医療論
兼任	教授	升田 寿賀子 [redacted] <令和5年4月> 修士(学術)
		チーム医療論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	横山 浩之 [redacted] <令和4年4月> 学士(鍼灸学)
		東洋医療概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	横山 浩之 [redacted] <令和4年4月> 学士(鍼灸学)
		東洋医療概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小宮山 恭弘 [redacted] <令和5年4月> 博士(生活科学)
		チーム医療論
兼任	教授	脇 英彦 [redacted] <令和5年4月> 博士(保健学)
		チーム医療論
兼任	教授	由利(辻田) 裕巳 [redacted] <令和5年4月> 博士(保健学)
		チーム医療論
兼任	教授	奥村 雅彦 [redacted] <令和5年4月> 博士(医療技術学)
		チーム医療論
兼任	教授	西浦 素子 [redacted] <令和5年4月> 博士(保健学)
		チーム医療論
兼任	教授	松下 太 [redacted] <令和5年4月> 博士(医学)
		総合リハビリテーションIPW 演習
兼任	教授	山本 浩一 [redacted] <令和5年4月> 博士(保健学)
		チーム医療論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	増山 祥子 [redacted] ＜令和4年4月＞ 修士(心身健康科学)
		統合医療概論
兼担	講師	長尾 晋宏 [redacted] ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		英語Ⅰ(初級) 英語Ⅱ(中級) 医学英語 基礎英語演習 応用英語演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	増山 祥子 [redacted] ＜令和4年4月＞ 修士(心身健康科学)
		統合医療概論
兼担	講師	長尾 晋宏 [redacted] ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		英語Ⅰ(初級) 英語Ⅱ(中級) 医学英語 基礎英語演習 応用英語演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	熊野 弘子 [redacted] ＜令和5年4月＞ 博士(文化交渉学)
		東洋医療概論
兼担	准教授	増山 祥子 [redacted] ＜令和5年4月＞ 修士(心身健康科学)
		チーム医療論 統合医療概論
兼担	准教授	岩佐 由美 [redacted] ＜令和5年4月＞ 修士(史学)
		チーム医療論
兼担	准教授	藤江 建朗 [redacted] ＜令和5年4月＞ 修士(応用情報科学)
		チーム医療論
兼担	准教授	小川 泰弘 [redacted] ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		チームリハビリテーション 概論
兼担	准教授	東 泰弘 [redacted] ＜令和5年4月＞ 博士(保健学)
		チームリハビリテーション 概論
兼担	講師	長尾 晋宏 [redacted] ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		英語Ⅰ(初級) 英語Ⅱ(中級) 医学英語 基礎英語演習 応用英語演習
兼担	講師	西原 かおり [redacted] ＜令和5年4月＞ 修士(看護学)
		チーム医療論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	佐野 加奈絵 [redacted] ＜令和4年4月＞ 博士 (スポーツ科学)
		基礎体育 健康科学 (スポーツ社会学を含む)
兼担	助教	信江 彩加 [redacted] ＜令和4年4月＞ 修士 (スポーツ科学)
		基礎体育

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	佐野 加奈絵 [redacted] ＜令和4年4月＞ 博士 (スポーツ科学)
		基礎体育 健康科学 (スポーツ社会学を含む)
兼担	助教	信江 彩加 [redacted] ＜令和4年4月＞ 修士 (スポーツ科学)
		基礎体育

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	講師	関根 将 [redacted] ＜令和5年4月＞ 修士 (人間健康科学)
		チーム医療論
兼担	講師	大久保 さやか [redacted] ＜令和5年4月＞ 修士 (応用情報科学)
		チーム医療論
兼担	講師	竹下 ひかり [redacted] ＜令和5年4月＞ 博士 (医学)
		人体の機能Ⅰ (動物性機能) 人体の機能Ⅱ (植物性機能) 病理学
兼担	講師	金森 幸 [redacted] ＜令和5年4月＞ 専門学校卒
		チームリハビリテーション 概論
兼担	講師	大橋 明日香 [redacted] ＜令和5年4月＞ 修士 (保健学)
		チーム医療論
兼担	講師	小田 啓之 [redacted] ＜令和5年4月＞ 博士 (スポーツ科学)
		基礎体育
兼担	講師	信江 彩加 [redacted] ＜令和5年4月＞ 修士 (スポーツ科学)
		基礎体育

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	伊奈 新太郎 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 修士(体育学)
		基礎体育
兼任	講師	久国 正章 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 高等学校卒
		物理学 生物学
兼任	講師	海蔵寺 陽子 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 修士(社会学)
		心理学 臨床心理学
兼任	講師	神田 靖士 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 博士(化学)
		生命倫理学
兼任	講師	松枝 啓至 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 博士(人間・環境学)
		哲学 西洋史概説
兼任	講師	掛川 直之 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 博士(創造都市)
		社会福祉学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	伊奈 新太郎 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 修士(体育学)
		基礎体育
兼任	講師	久国 正章 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 高等学校卒
		物理学 生物学
兼任	講師	海蔵寺 陽子 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 修士(社会学)
		心理学 臨床心理学
兼任	講師	神田 靖士 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 博士(化学)
		生命倫理学
兼任	講師	松枝 啓至 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 博士(人間・環境学)
		哲学 西洋史概説
兼任	講師	掛川 直之 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 博士(創造都市)
		社会福祉学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	伊奈 新太郎 ■■■■ ＜令和5年4月＞ 修士(体育学)
		基礎体育
兼任	助教	鍵野 将平 ■■■■ ＜令和5年4月＞ 修士(保健学)
		総合リハビリテーションIPW 演習
兼任	講師	久国 正章 ■■■■ ＜令和5年4月＞ 高等学校卒
		物理学 生物学
兼任	講師	海蔵寺 陽子 ■■■■ ＜令和5年4月＞ 修士(社会学)
		心理学 臨床心理学 理学療法特論Ⅲ
兼任	講師	神田 靖士 ■■■■ ＜令和5年4月＞ 博士(化学)
		生命倫理学
兼任	講師	中元 洸太 ■■■■ ＜令和5年4月＞ 博士(人間・環境学)
		哲学 西洋史概説

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	植田 重幸 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	重信 あゆみ ■■■■ ＜令和4年4月＞ 修士(中国文学)
		東洋史概説
兼任	講師	南方 克之 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		栄養学 生化学
兼任	講師	今村 行雄 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		人体の機能Ⅰ(動物性機能) 人体の機能Ⅱ(植物性機能) 公衆衛生学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	植田 重幸 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	重信 あゆみ ■■■■ ＜令和4年4月＞ 修士(中国文学)
		東洋史概説
兼任	講師	南方 克之 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		栄養学 生化学
兼任	講師	今村 行雄 ■■■■ ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		人体の機能Ⅰ(動物性機能) 人体の機能Ⅱ(植物性機能) 公衆衛生学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊東 香純 ■■■■ ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		社会福祉学
兼任	講師	植田 重幸 ■■■■ ＜令和5年4月＞ 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	重信 あゆみ ■■■■ ＜令和5年4月＞ 修士(中国文学)
		東洋史概説
兼任	講師	竹内 恵子 ■■■■ ＜令和5年4月＞ 修士(英文学)
		英語Ⅰ(初級) 英語Ⅱ(中級)
兼任	講師	Corinne Pitt ■■■■ ＜令和5年4月＞ 学士(文学)
		英会話
兼任	講師	濱口 幹太 ■■■■ ＜令和5年4月＞ 修士(人間環境学)
		健康科学 (スポーツ社会学を含む)
兼任	講師	南方 克之 ■■■■ ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		栄養学 生化学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮田 重樹 [redacted] ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		整形外科学
兼任	講師	石井 淳一 [redacted] ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		精神医学
兼任	講師	渋谷 静英 [redacted] ＜令和4年4月＞ 学士(教育学)
		チームリハビリテーション概論
兼任	講師	戸名(井下) 久美子 [redacted] ＜令和4年4月＞ 修士(人間科学)
		チームリハビリテーション概論
兼任	講師	伊黒 浩二 [redacted] ＜令和4年4月＞ 修士(健康科学)
		テーピング技術論
兼任	講師	李 庸吉 [redacted] ＜令和3年4月＞ 博士(法学)
		医療関係法規論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮田 重樹 [redacted] ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		整形外科学
兼任	講師	石井 淳一 [redacted] ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		精神医学
兼任	講師	渋谷 静英 [redacted] ＜令和4年4月＞ 学士(教育学)
		チームリハビリテーション概論
兼任	講師	戸名(井下) 久美子 [redacted] ＜令和4年4月＞ 修士(人間科学)
		チームリハビリテーション概論
兼任	講師	伊黒 浩二 [redacted] ＜令和4年4月＞ 修士(健康科学)
		テーピング技術論
兼任	講師	李 庸吉 [redacted] ＜令和4年4月＞ 博士(法学)
		医療関係法規論
兼任	講師	広田 知行 [redacted] ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		精神医学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	下笠 敬紀 [redacted] ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		公衆衛生学
兼任	講師	宮田 重樹 [redacted] ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		整形外科学
兼任	講師	石井 淳一 [redacted] ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		精神医学
兼任	講師	渋谷 静英 [redacted] ＜令和5年4月＞ 学士(教育学)
		チームリハビリテーション概論
兼任	講師	戸名(井下) 久美子 [redacted] ＜令和5年4月＞ 修士(人間科学)
		チームリハビリテーション概論
兼任	講師	伊黒 浩二 [redacted] ＜令和5年4月＞ 修士(健康科学)
		健康管理学Ⅰ 健康管理学Ⅱ テーピング技術論
兼任	講師	李 庸吉 [redacted] ＜令和5年4月＞ 博士(法学)
		医療関係法規論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	講師	野木 怜 [REDACTED] <令和5年4月> 博士(医学)
								精神医学

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新力の授業科目名を記入するとともに、下段に

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- 青木 元邦教授(専任)が令和3年4月より学長に就任し、令和4年4月より専任をはずれたため五十嵐 淳介教授(兼任)が「臨床病態学Ⅰ」、「臨床病態学Ⅱ」を担当。
- 北村 清一郎教授(兼任)退職のため堤 真大助教(専任)が「人体の構造演習Ⅰ(運動器)」、「人体の構造演習Ⅱ(運動器)」を担当。

- 昇任人事により講師から准教授へ変更
角田 晃啓(専任)

- 令和3年4月より以下の専任教員が就任
国宗 翔助教、堤 真大助教、平川 正彦助教
- 令和4年4月より以下の専任教員が就任
檜垣 奨 助教
- 令和4年4月より以下の兼任・兼任教員が就任
五十嵐 淳介教授(兼任)、広田 知行講師(兼任)

【令和5年度】

- 一身上の都合により小林 貴代(兼任)教授 退職
- 一身上の都合により佐野 加奈絵(兼任)講師 退職
- 一身上の都合により松枝 啓空(兼任)講師 辞退
- 一身上の都合により掛川 直之(兼任)講師 辞退
- 一身上の都合により今村 行雄(兼任)講師 辞退
- 一身上の都合により広田 知行(兼任)講師 辞退

- 令和5年度4月より以下の兼任・兼任教員が就任
吉村 弥須子(兼任)教授、升田 寿賀子(兼任)教授、小宮山 恭弘(兼任)教授、脇 英彦(兼任)教授、由利(辻田) 祿巳(兼任)教授、奥村 雅彦(兼任)教授、西浦 素子(兼任)教授、山本 浩一(兼任)教授、熊野 弘子(兼任)准教授、岩佐 由美(兼任)准教授、藤江 建朗(兼任)准教授、小川 泰弘(兼任)准教授、東 泰弘(兼任)准教授、西原 かつり(兼任)講師、関根 将(兼任)講師、大久保 さやか(兼任)講師、竹下 ひかり(兼任)講師、金森 幸(兼任)講師、大橋 明日香(兼任)講師、小田 啓之(兼任)講師、鍵野 将平(兼任)助教、中元 洸太(兼任)講師、伊東 香純(兼任)講師、竹内 恵子(兼任)講師、Corinne Pitt(兼任)講師、濱口 幹太(兼任)講師、下笠 敬紀(兼任)講師、野木 伶(兼任)講師

- 昇任人事により松尾 浩希(専任)助教の職位を講師に変更
- 昇任人事により国宗 翔(専任)助教の職位を講師に変更
- 昇任人事により堤 真大(専任)助教の職位を講師に変更
- 昇任人事により松尾 浩希(専任)助教の職位を講師に変更
- 昇任人事により信江 彩加(兼任)助教の職位を講師に変更

- 科目担当の見直しにより三木屋 良輔(専任)教授の科目を1科目(理学療法特論Ⅲ)を追加
- 科目担当の見直しにより三木屋 良輔(専任)教授の科目を6科目(チーム医療論、IPW論、基礎運動療法学各論、理学療法臨床推論概論、理学療法臨床推論演習、総合リハビリテーションIPW演習)を削除
- 科目担当の見直しにより河村 廣幸(専任)教授の科目を1科目(理学療法特論Ⅲ)を追加
- 科目担当の見直しにより河村 廣幸(専任)教授の科目を1科目(卒業研究Ⅰ)を削除
- 科目担当の見直しにより森谷 正之(専任)教授の科目を1科目(地域理学療法実習)を削除
- 科目担当の見直しにより堀 竜次(専任)教授の科目を1科目(理学療法特論Ⅲ)を追加
- 科目担当の見直しにより中根 征也(専任)教授の科目を2科目(臨床運動学、理学療法特論Ⅲ)を追加
- 科目担当の見直しにより中根 征也(専任)教授の科目を4科目(医療コミュニケーション、神経系理学療法学Ⅰ、神経系理学療法学Ⅱ、神経系理学療法学Ⅲ)を削除
- 科目担当の見直しにより工藤 慎太郎(専任)教授の科目を4科目(臨床運動学、理学療法触診法、基礎理学療法学Ⅰ、基礎理学療法学Ⅱ)を削除
- 科目担当の見直しにより前田 薫(専任)准教授の科目を1科目(運動器系理学療法セミナー)を追加
- 科目担当の見直しにより木内 隆裕(専任)准教授の科目を2科目(身体運動科学、理学療法評価学総論)を削除
- 科目担当の見直しにより角田 晃啓(専任)准教授の科目を2科目(総合リハビリテーションIPW演習、理学療法特論Ⅲ)を追加
- 科目担当の見直しにより角田 晃啓(専任)准教授の科目を2科目(医療コミュニケーション、リハビリテーション概論)を削除
- 科目担当の見直しにより仲本 正美(専任)准教授の科目を1科目(理学療法触診法)を追加
- 科目担当の見直しにより仲本 正美(専任)准教授の科目を1科目(運動器系理学療法セミナー)を削除
- 科目担当の見直しにより本 圭(専任)講師の科目を5科目(身体運動科学、リハビリテーション概論、テーピング技術論、理学療法臨床推論概論、理学療法臨床推論演習)を追加
- 科目担当の見直しにより松尾 浩希(専任)講師の科目を1科目(リハビリテーション概論)を追加
- 科目担当の見直しにより松尾 浩希(専任)講師の科目を2科目(理学療法特論Ⅰ、理学療法特論Ⅱ)を削除
- 科目担当の見直しにより国宗 翔(専任)講師の科目を8科目(MBS(Morinomiya Basic Seminar)、チーム医療論、臨床運動学、リハビリテーション概論、理学療法特論Ⅰ、理学療法特論Ⅲ、卒業研究Ⅰ、地域理学療法実習)を追加
- 科目担当の見直しにより堤 真大(専任)講師の科目を1科目(検査測定実習)を削除
- 科目担当の見直しにより林 真太郎(専任)助教の科目を2科目(理学療法特論Ⅰ、地域理学療法セミナー)を追加
- 科目担当の見直しにより檜垣 奨(専任)助教の科目を4科目(臨床運動学、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、地域理学療法実習)を追加
- 科目担当の見直しにより平川 正彦(専任)助教の科目を5科目(チーム医療学実習、卒業研究Ⅰ、卒業研究Ⅱ、地域理学療法実習、臨床総合実習Ⅱ)を追加
- 科目担当の見直しにより安部 辰夫(兼任)教授の科目を1科目(理学療法特論Ⅲ)を追加
- 科目担当の見直しにより中原 英博(兼任)教授の科目を3科目(健康管理学Ⅰ、健康管理学Ⅱ、身体運動科学)を削除
- 科目担当の見直しにより山下 仁(兼任)教授の科目を1科目(MBS(Morinomiya Basic Seminar))を追加
- 科目担当の見直しにより前川 佳敬(兼任)教授の科目を1科目(MBS(Morinomiya Basic Seminar))を追加
- 科目担当の見直しにより前川 佳敬(兼任)教授の科目を1科目(臨床病態学Ⅲ)を削除
- 科目担当の見直しにより吉岡 敏治(兼任)教授の科目を1科目(スポーツ医学)を削除
- 科目担当の見直しにより金尾 顕郎(兼任)教授の科目を4科目(神経系理学療法学Ⅰ、神経系理学療法学Ⅱ、神経系理学療法学Ⅲ、内部障害系理学療法学Ⅰ)を追加
- 科目担当の見直しにより金尾 顕郎(兼任)教授の科目を4科目(リハビリテーション概論、内部障害系理学療法学Ⅰ、内部障害系理学療法学Ⅱ、内部障害系理学療法学Ⅲ)を削除
- 科目担当の見直しにより吉村 弥須子(兼任)教授の科目を1科目(チーム医療論)を追加
- 科目担当の見直しにより升田 寿賀子(兼任)教授の科目を1科目(チーム医療論)を追加
- 科目担当の見直しにより小宮山 恭弘(兼任)教授の科目を1科目(チーム医療論)を追加
- 科目担当の見直しにより脇 英彦(兼任)教授の科目を1科目(チーム医療論)を追加
- 科目担当の見直しにより由利(辻田) 祿巳(兼任)教授の科目を1科目(チーム医療論)を追加
- 科目担当の見直しにより奥村 雅(兼任)教授の科目を1科目(チーム医療論)を追加
- 科目担当の見直しにより西浦 素子(兼任)教授の科目を1科目(チーム医療論)を追加
- 科目担当の見直しにより山本 浩一(兼任)教授の科目を1科目(総合リハビリテーションIPW演習)を追加
- 科目担当の見直しにより山本 浩一(兼任)教授の科目を1科目(チーム医療論)を追加
- 科目担当の見直しにより横山 浩之(兼任)教授の科目を1科目(東洋医療概論)を削除
- 科目担当の見直しにより熊野 弘子(兼任)准教授の科目を1科目(東洋医療概論)を追加
- 科目担当の見直しにより増山 祥子(兼任)准教授の科目を1科目(チーム医療論)を追加
- 科目担当の見直しにより岩佐 由美(兼任)准教授の科目を1科目(チーム医療論)を追加
- 科目担当の見直しにより藤江 建朗(兼任)准教授の科目を1科目(チーム医療論)を追加
- 科目担当の見直しにより小川 泰弘(兼任)准教授の科目を1科目(チームリハビリテーション概論)を追加
- 科目担当の見直しにより東 泰弘(兼任)准教授の科目を1科目(チームリハビリテーション概論)を追加
- 科目担当の見直しにより西原 かつり(兼任)講師の科目を1科目(チーム医療論)を追加
- 科目担当の見直しにより関根 将(兼任)講師の科目を1科目(チーム医療論)を追加
- 科目担当の見直しにより大久保 さやか(兼任)講師の科目を1科目(チーム医療論)を追加
- 科目担当の見直しにより木田 岩男(兼任)講師の科目を1科目(病理学)を削除
- 科目担当の見直しにより竹下 ひかり(兼任)講師の科目を3科目(人体の機能Ⅰ(動物性機能)、人体の機能Ⅱ(植物性機能)、病理学)を追加
- 科目担当の見直しにより金森 幸(兼任)講師の科目を1科目(チームリハビリテーション概論)を追加
- 科目担当の見直しにより大橋 明日香(兼任)講師の科目を1科目(チーム医療論)を追加
- 科目担当の見直しにより小田 啓之(兼任)講師の科目を1科目(基礎体育)を追加
- 科目担当の見直しにより鍵野 将平(兼任)助教の科目を1科目(総合リハビリテーションIPW演習)を追加
- 科目担当の見直しにより海蔵寺 陽子(兼任)講師の科目を1科目(理学療法特論Ⅲ)を追加
- 科目担当の見直しにより中元 洸太(兼任)講師の科目を2科目(哲学、西洋史概説)を追加
- 科目担当の見直しにより伊東 香純(兼任)講師の科目を1科目(社会福祉学)を追加
- 科目担当の見直しにより藤重(中嶋) 仁子(兼任)教授の科目を2科目(英語Ⅰ(初級)、英語Ⅱ(中級))を削除
- 科目担当の見直しにより竹内 恵子(兼任)講師の科目を2科目(英語Ⅰ(初級)、英語Ⅱ(中級))を追加
- 科目担当の見直しにより藤重(中嶋) 仁子(兼任)教授の科目を1科目(英会話)を削除
- 科目担当の見直しによりCorinne Pitt(兼任)講師の科目を1科目(英会話)を追加
- 科目担当の見直しにより濱口 幹太(兼任)講師の科目を1科目(健康科学(スポーツ社会学を含む))を追加
- 科目担当の見直しにより下笠 敬紀(兼任)講師の科目を1科目(公衆衛生学)を追加
- 科目担当の見直しにより伊黒 浩二(兼任)講師の科目を2科目(健康管理学Ⅰ、健康管理学Ⅱ)を追加
- 科目担当の見直しにより野木 伶(兼任)講師の科目を1科目(精神医学)を追加

(注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A/C教員審査)を受けてください。**A/C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ A/C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)」の設置の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
8	3	3	2	16	0	6	4	5	3	18	0
(6)	(4)	(2)	(6)	(18)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
6	4	5	3	18	0	6	4	5	3	18	0
[Δ2]	[1]	[2]	[1]	[2]	[0]	[Δ2]	[1]	[2]	[1]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
60 歳	1 名	2 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{16} = \boxed{112.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{18} = \boxed{5.55} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
								必修	選択	自由
1	教授	青木 元邦	R4.3	必修	臨床病態学Ⅰ	①	R3.4 学長に就任し、R4.4 より専任教員の任を解かれたため、未就任となった。			
				必修	臨床病態学Ⅱ	①				
2	教授	北村 清一郎	R4.3	必修	人体の構造演習Ⅰ（運動時）	①	R4.3 一身上の都合のため就任辞退（４）			
				必修	人体の構造演習Ⅱ（運動時）	①				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までには専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
								必修	選択	自由
		該当なし								
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までには専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{16} = 12.5 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教員の役職変更や自己都合による退職のため、致し方ないとする。専任の助教4名と兼担の教授の後任補充を行ったため、教育内容や学生への履修等への影響は無いと考える。また学生へは事前にシラバス及び時間割発表時に周知した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和3年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<総合リハビリテーション学部 理学療法学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	設置計画に関する変更は特になし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 自己点検評価・FSD委員会を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 令和4年度において12回実施した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院学術セミナーの共催について ・2021年度授業評価(公開授業)アンケート結果について ・ガバナンス・コード_ver.2 実施状況点検表について ・令和4年度教育の質に係る客観的指標調査 回答案について ・卒業生アンケート、就職先アンケートの公表について ・2022年度全体SD研修について ・2022年度後期 公開授業・授業評価アンケート実施について ・自己点検評価・FSD委員会 事業計画進捗報告について <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度自己点検に係るエビデンス集・データ編の作成および公開の実施 ・学内FSDセミナーの開催 ・令和4年度授業評価アンケート、公開授業週間の実施 ・大学院自己点検評価・FSD委員会の設置 ・学外研修会・セミナー等の案内 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員全体に向けた授業評価アンケート結果に基づくフィードバック会 ・教員全体の公開授業週間のアンケート、その結果に基づくフィードバック会 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の授業評価アンケートは 前期(令和4年7月頃)に全学科・全学年延べ401件 後期(令和4年11月頃)に全学科・全学年延べ518件実施した。 なお、当該学科において前期・後期合わせて 保健医療学部 理学療法学科31件 総合リハビリテーション学部 理学療法学科16件実施した。 ・令和4年度の公開授業週間は 前期(令和4年7月)に実施し、公開授業科目数65科目、授業参観教職員数が延べ664名参加した。 後期(令和4年11月～12月)に実施し、公開授業科目数80科目、授業参観教職員数が延べ590名参加した。 ・FSDセミナーとして 令和4年9月～令和4年12月「令和4年度 研究費コンプライアンス研修会(動画配信)」212名受講 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p>

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

令和4年度においては前期（令和4年7月）、後期（令和4年11月）に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生に対しては掲示板において授業アンケートの結果と教員側からのコメントをまとめたリフレクションペーパーの結果の公表を実施している。教職員に対しては授業アンケートの結果とリフレクションペーパーの一覧をフィードバック会で配布する。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置計画に記載した設置の趣旨・目的の達成に向け、計画通り、教育研究活動を実行できている。

令和5年入学者においては70名を受け入れた。今後も継続して教育活動の充実を図っていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年8月末日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・令和2年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審し、審査の結果令和3年3月に適合の認定を受けた。令和9年度に受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。